



しみん基金 K O B E N E W S



**V66
O L**
2025年8月号



認定NPO法人しみん基金・KOBE

発行日2024年8月

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通4丁目1-23-605

[TEL] 078-230-9774 [FAX] 078-230-9786 [MAIL] kikin@stylebuilt.co.jp [HP] stylebuilt.co.jp/kikin

『課題解決アイデア』を未来へ

「記念イヤーだから新しいことをしよう」というのはよくありますが、それを迎える年に新しい取り組みをしようというのは斬新!と思ったのが最初の印象だった『課題解決アイデア募集』阪神・淡路大震災30年』。

これからの災害対応に向けて、災害リスクに常に晒されている我々の社会において豊かな暮らしを営めるよう、過去の教訓をもとに可能性をもつアイデアをもとに提言していこうという趣旨から募集がなされました。

最優秀賞・・・は出ませんでした、5つの部門賞に輝いた原石が(すでに輝きを放っているものも)ありました。アイデアに留まらないよう、少しでも実装につなげようと、アイデアを改善するためのワークショップも開催されました。

私は2回目のワークショップに参加しましたが、40名を超える参加者がお越しになり、それぞれのアイデアに耳を傾け、関心をもったアイデアグループに参加し、心に響いたこと、活用方法などと賑やかな議論を展開しました。

アイデアも活用してなんぼのもの!ですので、みんなでアイデアを生み出し、実現していきたいですね。

石田 祐

関西学院大学人間福祉学部
社会起業学科教授

しみん基金・KOBEをご支援いただいている皆様へ感謝を込めて

阪神・淡路大震災30年 課題解決アイデアを考える

昨年度公募した提案・提言での入賞6提案と特別賞とを多様な人たちに
ブラッシュアップしていただくことを目的にワークショップを開催しました。

人 材活用アイデアを考える / 3月18日 こうべまちづくり会館

人材活用部門 (敬称略)

一般社団法人アスミー / まちごとみんなで公務プロジェクト

尾形 紗希 / 企業ボランティアプログラムおよびプラットフォーム構築に向けた提言

特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 / シルバー建築応援隊

年度末平日の慌ただしい時期でしたが、アドバイザーやスタッフも含め40名の方にご参加いただきました。最初に理事の室崎さんからボランティアの在り方についてメッセージをいただき、続いて人材活用に関する3提案を各提案者からプレゼンテーション。

そのあと参加者にそれぞれの提案ごとの分科会に分かれて議論いただきました。最後に全体会で共有し、アドバイザーからの講評後クロストークをして閉会となりました。アンケートでも2時間半があったという間だったなどのお声をいただくことができました。



課 課題解決アイデアを考える / 6月18日 中央区文化センター

エンパワメント部門ならびに特別賞 (敬称略)

下町レトロに首っ丈の会 / ものづくりの技能を介した交流の場の形成

五十嵐香里 / セルフケアによるよい変化を互いに見届け合う進化系自助会の開催

森松明希子 / 災害あるある五七五

【特別賞】京橋健一郎 / 行政×民間×ボランティア×NPO法人×ITによる防災

暑い中、アドバイザーやスタッフも含め54名の方がお集まりくださり、取材の方も来ていただきました。最初に阪神高齢者・障がい者支援センターの宇都幸子さんに、当基金前理事長でもある黒田さんが被災後実践した地域包括ケアとしての活動についてお話しいただきました。

続いて3月と同じように提案者のプレゼン、提案ごとの分科会のあと、全体で共有と講評という流れで実施しました。最後に室崎さんの「30年前は足湯という新しい活動を生み出したが、30年たってアイデアが出てきている。市民活動の転換点にある今、引き続き検討していきたい」との言葉で締められました。



神戸まつり
COMING
KOBE25に
出展

神戸まつりが5月18日に開催され、花時計広場で行われる減災ヴィレッジ「COMING KOBE25」に出展し珠洲市の輪島塗漆器を販売しました。



2025年度定期総会

6月3日17時半より定期総会を実施し、以下の議題について審議を行い、承認されましたのでご報告いたします。

2024年度事業報告並びに決算報告(抜粋)

1 助成事業

令和6年能登半島地震を契機として、通常の助成事業を休止し、分野を問わず復興に資するソフト的対策となる提案・提言公募を実施し、6提案の入賞と特別賞を顕彰しました。またその提案のブラッシュアップワークの1回目を実施しました。黒田裕子賞は長年震災語り部をされている4名に贈呈しました。

2 寄附・募金活動

寄付・募金では、百27万4千8百64円を託していただきました。

こうべあいウオーク2025を実施しました。

「Yahoo! ネット募金」で寄付をいただきました。

(有)神戸国際マーケットなどと連携し古着チャリティ事業を行いました。

池見宏子さんから「神戸のな赤ちゃん」を献本いただきました。

3 その他中間支援事業

神戸市からの受託事業として、神戸市ボランティアマッチングサイト「ぼらくる」の活用促進、並びに神戸市能登半島被災地支援助成事業報告会・交流会を実施しました。

KIITO...300の運営協力として相談事業や講座事業に関わりました。

ボランティアキャンプすと連携しKIITO...300にもご協力いただいて、被災ご家庭の輪島塗り漆器を洗浄・販売し、売上は経費を除き珠洲市町内会に寄付しました。

2025年度事業計画並びに予算(抜粋)

1 助成事業

24年度分の顕彰事業がまだ終了していないのでブラッシュアップワークの2回目と冊子化を行います。25年度は通常助成事業を一般枠だけ行い、特定枠は昨年度事業を縮小した顕彰事業を行います。

2 寄附・募金活動

チャリティイベントや物寄付を継続いたします。白鶴酒造(株)よりご寄付を頂き、白鶴助成について検討します。

3 その他中間支援事業

神戸市ボランティアアマッチングシステム「ぼらくる」活用促進事業を、継続実施します。

輪島塗り漆器洗浄・販売を継続し、5月には神戸まつり、7月にはみなとまつりで販売します。

神戸デザイン・クリエイティブセンターからの受託事業として、KIITO...300の講座事業等を実施します。

役員一部交代について

村井雅清副理事長が退任され、戎正晴理事長が副理事長兼務となりました。

基本財産の取り崩しについて

やむを得ない場合に限り、5百万円を上限に基本財産から運用財産に繰り入れることを承認されました。

2025年度収支予算概要

【経常収益】	5,211,000
受取会費	500,000
受取寄附金	2,050,000
受取助成金	1,350,000
事業収益	1,260,000
その他収益	51,000
【経常費用】	6,739,877
事業費	
人件費	2,326,000
その他経費	3,663,877
管理費	
人件費	652,000
その他経費	228,419
経常収支差額	△1,659,296

2024年度収支決算概要

【経常収益】	4,492,415
受取会費	419,000
受取寄附金	1,274,864
受取助成金	530,250
事業収益	2,208,100
その他収益	60,201
【経常費用】	5,069,308
事業費	
人件費	2,321,351
その他経費	1,941,738
管理費	
人件費	580,336
その他経費	225,883
当期経常増減額	△576,893
【経常外収益】	2260
当期正味財産増減額	△574,633
前期繰越正味財産	17,265,771
次期繰越正味財産額	16,691,138

30年目のひとり言

「草の根の活動を」

暑過ぎる毎が続いている。酷暑であろうと時は待つてはくれない。目の前に横たわる問題、課題を解決すべく市民活動に汗を流されている皆様には、本当に頭が下がる。本年6月に開催された当基金の総会において、当基金の設立に携わり、26年の間、理事をお勤め頂いた村井副理事長が退任された。1995年に起こった阪神・淡路大震災の直後からボランティア活動に身を投じ、日本国内だけではなく、海外で起こった災害の復旧・復興現場でも活動し続けられている。当基金設立も、お亡くなりになられた黒田裕子前理事長と共に構想を練られ、行政や経済界に働きかけを行い、設立に至ったものと記憶している。

前号のコラムでも紹介した通り、故黒田裕子前理事長の言葉「最後の一人までも見捨てない」は、設立の動機であり、「草の根の活動を支援する」は、当基金の活動の揺るぎのない信念とも云えるだろう。社会は刻々と変化していく。社会の変化と共に市民活動の形も変わっていくことは必然だと考える。活動の形は変わっても変えてはならないもの、それは、活動に対する信念だと思う。信念が揺らげば、形も揺らぎ、やがて跡形もなくなるだろう。震災から30年間、信念を貫き通し、これから新たな活動に身を投じられる村井前副理事長に敬意を表するとともに、心よりの御礼を申し上げます。ありがとうございました。

しみる基金・こうべ 専務理事

瀬戸口 仁三郎

ご寄付いただきました。

賛助会員／寄付募集しています

※当基金へのご寄付と賛助会費は
税制優遇の対象です

※ふるさと納税でもご寄付いただけます。

お申し込みは電話・ファクス・メールなどで
ご連絡いただくか、HPをご参照ください。



会員数とご寄付のご報告（2025年6月末）

正会員 個人23名 3団体
賛助会員 個人37名 7団体

寄付・募金合計金額 22万5千1百62円

寄付者・募金一覧（敬称略・順不同）

飛田雄一、中島秀男、橋口文博、山田剛司、

（有）神戸国際マーケット、ヤフービジネスサービ

芦屋西ノ宮市民法律事務所、兵遊協福祉基金

まちの本屋上映実行委員会募金箱

ボックス募金箱

（2025年3月～2025年6月）
※皆様方からの貴重なご厚志に感謝申し上げます。

※ご寄付、会費納入は、クレジット決済も
ご利用頂けますのでご活用ください。

当基金ホームページトップページの

「クレジットサポーター」からアクセスできます！

編集後記

2024年度の顕彰事業は
皆さまのご支援により無事終了し
ました。感謝申し上げます。
2025年度の助成・顕彰事業へ
ご応募もお待ちしております。
熱中症に気をつけ、素敵な夏を
お過ごしください。（お）